



## 10月はロータリー職業奉仕月間

職業奉仕は次のことに焦点を当てます。

- あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り、推進すること。その中には、雇主、従業員、同僚、同業者、一般の人々への公平な取り扱いも含まれる。
- ロータリアンの携わる職業のみならず、あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること。
- 自己の職業上の手腕を社会の問題解決や地域社会のニーズ対応に役立てること。

10月中、ロータリアンは、ロータリー奉仕のこの重要な部門に焦点を当てるよう奨励されています。職業奉仕に関する話し合いを持つことで、ロータリアンの倫理意識や職業的能力を高めるだけでなく、地域社会の人々の職業的才能の開発にもつながります。職業奉仕月間は、ロータリーでの討論会や地域プロジェクトの表彰など、幅広い職業奉仕の年度活動を開始する良い機会です。以下は、職業奉仕月間中に行うことのできる職業奉仕活動の案です。

- 10月最初の例会を、「[四つのテスト](#)」およびロータリアンの「[職業宣言](#)」を含む第二の「奉仕部門」について検討することに当てる。職業奉仕に対する会員の意識を高めた上で、年度の残りの期間に行うプロジェクトの計画について提案や意見を述べてもらう。
- 一連の「職業に関するミニスピーチ」を企画し、各会員に自分の職業について5分程度話してもらう。各例会の始めに一人が話すようにし、一巡して全員が発表するよう予定を組む。目的は、ロータリアンの職業意識を高め、あらゆる有用な職業の価値を認識するよう促進することです。
- 非常に高い道徳的水準を維持しながら、職業で卓越した業績を残した地域社会の一人に職業賞を授与する。地域社会の人々にこの賞について周知させ、これを10月の年次行事にすることを検討する。
- 専門家を招いて地域社会の職業的ニーズについて講演を行ってもらい、そのニーズを取り上げたプロジェクトを企画する。可能性のあるプロジェクトとしては、人格形成に焦点を当てたものや、若者への就職情報を提供するもの、零細企業の相談に乗るもの、従業員に新しい技能を身につけさせるワークショップを行うものなどが考えられる。
- クラブ会員に、職業の技能を生かして[ロータリー・ボランティア](#)として活動するよう奨励する。ボランティアの機会については、多くのプロジェクトを記載している貴重な資料、[ProjectLINK \(プロジェクトリンク\)](#)を参照のこと。クラブと地区は、この資料に掲載されているプロジェクトに資金や寄贈物資を送ることもできる。また、プロジェクトリンクには、クラブがプロジェクトを計画する際の見本となる職業奉仕プロジェクトの成功例も紹介されている。

詳細は、[www.rotary.org](http://www.rotary.org)\* を参照するか、RI職員まで  
Eメール([vocationalservice@rotary.org](mailto:vocationalservice@rotary.org))でお問い合わせください。

\* <http://www.rotary.org/ja/ServiceAndFellowship/StartAProject/AvenuesOfService/Pages/ridefault.aspx>